



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

日本共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第473号

2020年9月21日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

習志野演習場で日米合同訓練が行われる

陸上自衛隊第1空挺団は、9月14、15日に習志野演習場で米空軍機からの降下訓練を行いました。（14日は悪天のため中止）

習志野演習場では、今年1月12日の「降下訓練始め」で、陸上自衛隊第1空挺団が米軍機から降下を実施していますが、防衛省は「展示降下」と言いつくろい、訓練とは認めていません。今回の降下訓練が習志野演習場で行われる初めての日米合同訓練になりました。

平和憲法を踏みにじる米軍との合同訓練

日本は、過去の戦争の反省と経験から、日本国憲法第9条で、「戦争放棄」、「戦力不保持」、「交戦権の否認」をうたい、そのことにより75年以上ものあいだ戦争を行わず、平和を保っているのです。この平和憲法は、世界からも注目されている誇るべき憲法なのです。

しかし、戦争をしない自衛隊が、戦争をする軍隊と合同訓練を行うことは、平和憲法の意味に反することであり、許されることはありません。

防衛省に対し訓練中止を要請、聞き取りを実施

日本共産党は9月14日、防衛省に対する聞き取りと、訓練中止の申し入れを行いました。

八千代市の議員からは、「船橋、習志野、そして八千代市民を合わせて100万人が住む街の真ん中にある狭い演習場への降下訓練自体、安全性に問題がある」と訴え、訓練中止を求めました。

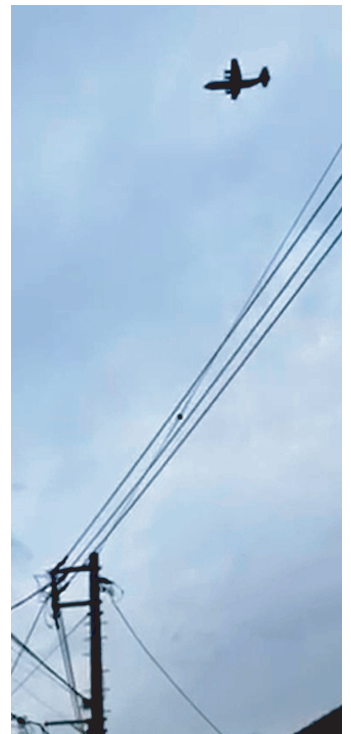
聞き取りでは、今回の訓練について、防衛省から関係自治体への事前通告が、土日を挟んだ直前である11日の夕方だったことをただすと、防衛省担当者は「習志野演習場周辺自治体には8月26日に知らせた」と回答。しかし情報は公開しないように口止めされており、市民はおろか議員に対しても訓練実施が秘密にされていたことがわかりました。

危険な輸送機オスプレイの配備撤回を求めます

7月10日に陸上自衛隊木更津駐屯地に暫定配備された輸送機オスプレイは、開発段階から事故を繰り返し、米軍所属のオスプレイも日本を含む世界中で墜落や事故を繰り返している危険な航空機です。

このオスプレイが、11月頃には八千代市上空を飛ぶ可能性があると言防衛省は回答しています。

日本共産党は9月議会に、オスプレイの配備撤回と訓練中止を求め発議案を提出しています。市民の生活と安全を守るために、平和憲法を守るために米軍との合同訓練に対して強く反対します。



9月15日、萱田付近を轟音を立てて飛行する米軍機